

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	特別展示事業(3部門)	会計	一般会計	事業No.	822	施策順No.	29-010
		事業種別	政策・重点	予算科目	10-5-6-11-8		
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり			課等名	美術博物館		
施策	29 ふるさと意識の醸成			事業期間	開始	1	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	1 飯田下伊那広域圏の地域住民 2 学芸員の調査・研究活動						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		圏域住民数(人)		177000	177000	177000	177000	
		学芸員が調査・研究するテーマ数(件)		30	30	30	30	
意図	1 特別展の開催を通じて、自然や文化・芸術に対する関心を高め、新たな知識や感動を提供する。 2 調査研究活動の内容を地域に還元する。							
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	特別展等館主催展覧会の観覧者数(延べ人数)	24964	27870	28937	25000	29150	25000	A
	実施した特別展示(特別展・企画展・特別陳列)の回数(回)	7	9	10	9	7	7	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	飯田お練り祭り・全国獅子舞フェスティバルにあわせて時機を得た2本の特別展(「信州飯田領主堀侯」「獅子舞」)や、三遠南信の交流展を開催するなどしたことで、観覧者が大幅に伸び、目標を十分に達成できた。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	1 内外の優れた作品・資料を紹介する特別展示や、伊那谷に関わる自然・文化を紹介する特別展示を、調査・研究活動の成果に基づきながら計画立案し、時機を捉えて開催する。 2 美術・人文(考古博含む)・自然の3部門が、特別展・企画展・特別陳列を開催する。また、次年度以降の展覧会の準備を行う。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 美術展覧会 (1)特別展「三遠南信交流ミュージアムサミット」、(2)「ブラティスラバ絵本原画展」 2 人文展覧会 (1)特別展「信州飯田領主堀侯」(前年度末から)、(2)特別展「獅子舞」 3 自然展覧会 (1)企画展「伊那谷の蝶蛾誌」、(2)特別陳列「南アルプスジオパーク」 4 3部門次年度以降の展覧会準備 5 菱田春草没後百年記念特別展準備	1 美術展覧会数 2 人文展覧会数 3 自然展覧会数 4 3部門展覧会準備数 5 展覧会準備数	1 2回 2 3回 3 2回 4 4回 5 1回
23年度実施計画	1 美術展覧会 (1)「ブラティスラバ絵本原画展」(前年度末から) (2)菱田春草没後百年記念特別展「春草晩年の追求」* 2 人文展覧会 (1)三遠南信交流特別展「黄金の世紀」(考古博担当) (2)特別陳列「三六災害50年」、(3)特別陳列「瑠璃寺と天台の秘宝」 3 自然展覧会 (1)企画展「御池山クレーター」 4 3部門共同展覧会 (1)特別陳列「桜」 5 3部門次年度以降の展覧会準備	1 美術展覧会数 2 人文展覧会数 3 自然展覧会数 4 3部門共同展覧会数 5 展覧会準備数	1 2回 2 3回 3 1回 4 1回 5 2回

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	[22特定財源](国)社会資本整備交付金4.5/10 [23特定財源](国)社会資本整備交付金4.5/10
	特定財源内訳、補足事項	県支出金	5,400	5,400	5,400	
		起債				
		その他				
		一般財源	18,193	16,809	17,283	
	計(A)	23,593	22,209	22,683		
	正規職員所要時間					
	臨時職員等所要時間					
	人件費計(B)		0			
	トータルコスト A+B		22,209			

4 事業に対する市民や議会の意見

美術・人文・自然に関心を持つ市民にとっては、それぞれの特別展(自主企画・巡回企画)に対する期待が非常に大きい。菱田春草没後100年を記念した特別展を求める声が多数寄せられている。なお、橋北まちづくり委員会を中心に、このまたとない機をとらえて仲之町の生誕地を整備しようとする動きが高まっている。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	1 地域を知る 2 地域を誇りに思う	施策の成果指標又はムトス指標	1 飯田の自然・歴史・文化を学んでいる市民の数(延べ人数) 1 ふるさと(飯田)を誇りに思っている市民の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	具体的なテーマに沿って、実物資料を一堂に展示して解説し、また図録刊行や講演会・講座等を開催することにより、市民が地域を知る、誇りに思う機会を提供できた。		
	後期に向けた課題	市民が地域を知る、誇りに思うにふさわしい展覧会を開催する。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	飯田市制70周年記念特別展「絵画のなかの物語」や飯田お練り祭り協賛特別展「信州飯田領主堀侯」・全国獅子舞フェスティバル飯田開催記念特別展「獅子舞」など時機を得た展覧会の開催に努めた。また、平成20年度からは「まちづくり交付金」を導入した。リピーターを増やすためにパスポート会員を設けた。		
	後期に向けた課題	菱田春草没後百年記念展「春草晩年の追究」など、時機を得た展覧会の開催に引き続き努める。		
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	経費をかける特別展と、経費を押さえる展覧会とを明確に区別した。		
	後期に向けた課題	展覧会の目的・対象等をはっきりと区別させ、効率の良い戦略的な企画を工夫する必要がある。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	観覧者に観覧料負担を求めた。内容の深い展覧会は市の関与なくして実現できない。		
	後期に向けた課題	小中学生については教育的な配慮から完全無料化も検討の余地がある。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	展示を通じてふるさと意識の醸成や研究活動の成果を観覧していただく。		
	後期に向けた課題	多くの郡市民に観覧をしてもらうため、PR方法等を検討する。		
全体を通じて	4年間の振り返り	展覧会だけに終わるのではなく、社会的な反響を呼び起こすことのできた企画を開催できたように思う。一方で期待はずれの観覧者数に終わった企画もあった。		
	後期に向けた課題	せっかく開催した展覧会なので、より多くの市民に観てもらえるよう、展覧会の企画や広報についてさらに工夫をし、学校や地域との連携を深める必要がある。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ある	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	--